

AI ソリューションXロボティクス技術により、日本社会が直面する人手不足等の課題を解決  
自律型 AI 搭載の多機能サービスロボットを提供する RoboPath

## 世界最大級のロボット専門展「2025 国際ロボット展」出展

～多層階施設の DX・人手不足解消に向け、ロボットと共存する未来社会への一歩を紹介～

RoboPath 株式会社（代表取締役：平木 康孝／所在地：東京都渋谷区、以下「RoboPath」）は、2025 年 12 月 3 日（水）から 12 月 6 日（土）まで、東京ビッグサイトにて開催された世界最大級のロボット専門展「2025 国際ロボット展」（主催：一般社団法人 日本ロボット工業会／日刊工業新聞社）において、GMO インターネットグループのブース内にて、自律型 AI 搭載・多機能サービスロボット「RPX-100」を紹介し、多くの来場者から注目を集めました。



RoboPath は、GMO インターネットグループの AI・ロボット事業を担う総合商社である GMO AI&ロボティクス商事株式会社（以下 GMO AIR）と 2025 年 5 月に戦略的パートナーシップを締結し、両社の技術・販売・インフラ基盤を融合することで、ロボットの社会実装を推進しています。

今回の展示では、GMO AIR が「人とロボットが共存する未来を体験」をテーマに、店舗・カフェ・倉庫を模した空間を構築し、ヒューマノイドロボットが日常的に活躍する未来の生活シーンを来場者に提示しました。

その展示コンテンツの一環として、RoboPath の自律型 AI 搭載・多機能サービスロボット「RPX-100」は、多層階施設における清掃・配送・配膳等の業務を担う AI ロボティクスの一例としてブース内に展示されました。

中国・米国・欧州諸国では、産官学が一体となってロボットの社会実装が進む一方、日本では今まさにその加速が求められています。製造・物流・サービスなど多様な産業で人手不足が深刻化する中、ロボットとの共存・協働は、今後の社会を支える重要な選択肢の一つです。

RoboPath は、多層階施設における清掃・配送・配膳等の業務の DX 推進や人手不足解消を目的に、「RPX-100」の導入拡大と現場活用の高度化に取り組んでいます。今後も展示会への積極的な出展を通じて、多くの方々にロボットの可能性を体感いただきながら、「RPX-100」の認知拡大と普及を図り、人とロボットが共に働く未来の実現に貢献してまいります。

#### 【自律型 AI 搭載 多機能サービスロボット「RPX-100」】

ロボット本体と上部ユニットが分離された構造を採用し、ユニットの付け替えによって配達・搬送・清掃など複数の業務を 1 台で対応できる、エレベーターと自動連携可能な自律型 AI 搭載サービスロボットです。RoboPath 独自開発のエレベーター連携モジュールにより、導入期間の短縮やトラブル対応の課題を解決し、スムーズかつセキュアな運用が可能です。また、反射の強いステンレスや透明なアクリル板といった認識が困難な材質にも対応する高精度センサーを搭載しているため、多層階施設において安全な稼働・性能を実現し、人手不足や効率化等のニーズに対応します。（URL：<https://robopath.co.jp/service/robotics/>）



（左から）配送（開放型）、配送、清掃、コアロボット

**【RoboPath 会社概要】**

会社名 : RoboPath 株式会社

代表者 : 代表取締役 平木康孝

所在地 : 東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 3 階

創業 : 2024 年 6 月 24 日

資本金 : 2,000 万円

事業内容 : サービスロボットおよび業務効率化ソリューションの開発・販売  
(導入業種: ホテル・病院・工場・倉庫 等)

URL : <https://robopath.co.jp/>